

平成 24 年 2 月 9 日  
210 会議室

平成 24 年第 3 回  
立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

## 平成24年第3回立川市教育委員会定例会

- 1 日 時 平成24年2月9日(木)  
開会 午後 1時30分  
閉会 午後 2時08分  
休憩 午後 2時04分～午後 2時05分
- 2 場 所 210会議室
- 3 出席委員 福 田 一 平 田 中 健 一  
古 岡 邦 人 平 山 いづみ  
澤 利 夫

署名委員 平 山 いづみ

- 4 説明のため出席した者の職氏名
- |          |       |      |       |
|----------|-------|------|-------|
| 教育長      | 澤 利夫  | 教育部長 | 近藤 忠信 |
| 教育総務課長   | 小林 健司 | 指導課長 | 並木 浩子 |
| スポーツ振興課長 | 五十嵐敏行 | 図書館長 | 清水 啓文 |
- 5 会議に出席した事務局の職員
- |          |       |       |
|----------|-------|-------|
| 教育総務課庶務係 | 高木 健一 | 大澤 善昭 |
|----------|-------|-------|

## 案 件

### 1 議案

- (1) 議案第2号 立川市公立学校副校長の内申について

### 2 協議

- (1) 教育委員会の点検・評価について
- (2) 立川市図書館条例の一部改正について

### 3 報告

- (1) 平成24年度予算案について
- (2) 立川シティハーフマラソン2012について

### 4 その他

平成24年第3回立川市教育委員会定例会議事日程

平成24年2月9日  
210会議室

1 議案

(1) 議案第2号 立川市公立学校副校長の内申について

2 協議

(1) 教育委員会の点検・評価について

(2) 立川市図書館条例の一部改正について

3 報告

(1) 平成24年度予算案について

(2) 立川シティハーフマラソン2012について

4 その他

---

◎開会の辞

- 福田委員長 ただいまから、平成24年第3回立川市教育委員会定例会を開会いたします。  
署名委員に平山委員、お願いいたします。
- 平山委員 はい、承知しました。
- 福田委員長 次に、議事内容を確認します。議案1件、協議2件、報告2件でございます。  
その他は議事進行過程で確認をいたします。  
なお、議案第2号、立川市公立学校副校長の内申については秘密会にしたいと思っております。  
よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

- 福田委員長 それでは、2の協議(1)、(2)及び3の報告(1)、(2)をすべて終えた後に、  
議案第2号、立川市公立学校副校長の内申については、傍聴の方にもご配慮し最後に秘密会  
として行います。  
次に出席者の確認を行います。近藤教育部長、お願いいたします。
- 近藤教育部長 本日の事務局の出席者ですが、私、教育部長、近藤のほか、小林教育総務課  
長、並木指導課長、五十嵐スポーツ振興課長そして清水図書館長です。よろしくお願  
いいたします。

---

◎協 議

(1) 教育委員会の点検・評価について

- 福田委員長 協議に入ります。  
協議(1)教育委員会の点検・評価について、協議をします。教育委員会点検・評価(最終  
評価〈案〉)の資料をご参照願います。  
澤教育長、本日の協議の狙いについて及び趣旨説明、経過報告をお願いいたします。
- 澤教育長 今回の協議につきましては、最終協議になろうかと思っておりますけれども、前回、評  
価とコメントについてご意見をいただきまして、事務局でそれを整理させていただいて、修  
正をしております。今回はできれば1と2に分けていただいで全般的な協議をしていただき  
たいと思っております。よろしくお願いたします。
- 福田委員長 今回の提案の趣旨及び資料に基づいた教育委員会点検評価[最終]についてのご  
説明を小林教育総務課長、お願いいたします。
- 小林教育総務課長 それでは、ご説明いたします。  
お手元にご配付してございます最終評価案は、前回の外部評価委員のコメントなどを参考  
にいたしまして、ご協議いただいた内容を追加、訂正等いたしましたものでございます。各  
活動、各施策についてご意見をいただきまして、次回定例会で議案として提出いたしまして、  
ご決定いただくという形をとりたいと考えてございます。よろしくお願いたします。

それでは2つに分けてということですので、まず教育委員会活動の点検・評価の部分での訂正箇所のみご説明いたします。

4ページをお開きください。「教育委員会の会議の運営に関すること」でございますが、こちらについては文言が「高所大所」と逆になっておりますので、これを「大所高所」という正式な日本語に訂正したということでございます。

活動の評価については、この1点のみでございます。

○**福田委員長** 今、小林教育総務課長からご説明いただきましたが、教育委員会活動の点検・評価につきまして、全体を通してご質問ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○**福田委員長** 本日のこの協議につきましては、澤教育長の経過報告でお願いしましたように、手順を踏んで協議を重ねてきております。さらに2ページにございます点検・評価の流れ、その7にありますように、本定例会で協議をし、協議結果を活かして最終評価としたものを次の第4回定例会の議案として討議し最終決定する。そして文教委員会へ報告するものでございます。

本日の協議では特にコメントや課題について何もないようでしたら、先ほど小林教育総務課長からご説明があったとおり、このままの状態で行くという形でよろしいですか。

はい、田中委員

○**田中委員** 今、委員長がおっしゃったのは教育委員会活動の点検・評価のみですね。この後の施策は別ですね。あとは先ほど話がありましたように、第4回定例会に議案として出され、その後、教育部長から議会に報告と、そういうことになっていますね。

○**福田委員長** はい。

○**田中委員** 分かりました。

○**福田委員長** それでは、11ページから、教育委員会施策の点検・評価に移ります。

小林教育総務課長、お願いします。

○**小林教育総務課長** 教育委員会施策の点検・評価について、一括して説明いたします。訂正、追加のみ説明いたします。

まず12ページでございます。「心とからだの健康づくりの推進」でございます。こちらにつきましては前回の協議の中で、外部評価委員からいただいた教職員のメンタルヘルス、この部分を加えたらどうかということで、最終評価の下線の部分、「教職員も含めたメンタルヘルスへの対策を充実することが必要である」ということを付け加えました。

続きまして13ページ、「いじめや不登校などの相談機能の充実」でございます。こちらについても前回ご協議をいただきまして、下線の部分、「その成果を市民に発信する方法を工夫するとともに」という形で表記を付け加えさせていただいております。

続きまして14ページ、「豊かな個性と創造力を伸ばす教育の推進」でございますが、こちらにつきましては前回の協議を受けまして、最終評価の1行目でございます。「各学校で学校ボランティアなどの市民力の活用により、児童生徒の学校生活や教育活動が側面から支援さ

れた。」、この部分を書き加えてございます。

続きまして17ページでございます。こちらにつきましては外部評価委員のコメントを受けまして、最終評価の最後の2行目、「今後も、幅広い市民の声を教育施策に反映していく必要がある。」と書き加えてございます。

続きまして20ページ、「生きがいをめざす楽しい学習」でございます。こちらにつきましては、最終評価は1次評価と同様でございます。外部評価委員の部分で、「継続教育の視点も含めて持続型・循環型の生涯学習モデルが模索されてもよい」とのことについて、具体的などのようなことか確認の必要があるという議論がございましたので、これにつきましては外部評価委員の朝岡先生にお聞きしまして、あとの下線部、「具体的には、市民が市と連携・協力関係にある高等教育機関に学生・大学院生・研究生として入学し、その成果を市民交流大学の運営に活かす制度が検討されても良い」、こういう趣旨のことを先生がおっしゃったということですので、これを外部評価に付け加えさせていただきました。

続きまして25ページでございます。こちらにつきましても前回の協議を受けまして、最終評価の部分で2行目、「利用者等のニーズに十分応えていくために、利用者や保護者等とのコンセンサスを図りながら事業の実施と施設の改善を図ることが今後の課題である」の部分を加えてございます。

続いて33ページ、「学校と学校図書館の取組」でございます。こちらにつきましては前回の協議を受けまして、「学校図書館担当者連絡会を定期的に開催し市図書館との連携を深めたほか、学校図書システムを小学校9校に導入し、蔵書管理や貸出・返却をスムーズにすることができた」ということでこの部分を書き加えています。

35ページ、こちらにつきましては、外部評価のコメントと前回の協議を受けまして、情報リテラシー教育の部分最終評価に加えさせていただいたと同時に、1次評価で「中学生になると未読書率」と書いてございましたところを、協議を受けまして、「小学校高学年になると未読書率が増加しているの」と変更させていただきました。

前回の協議結果からの変更点は以上のおりでございます。よろしくご協議お願いいたします。

○**福田委員長** それでは、11ページから35ページでございますが、下線部を追加、修正していただいておりますが、一括して協議に入ります。

何かご質問等ございますか。田中委員。

○**田中委員** 最終協議ということになりますので3点、一部修正をしてはどうかという点で申し上げます。

1つは、13ページをご覧ください。「人権尊重の精神と社会の一員としての自覚の育成」、この中で評価がAになっていまして、上から4行目、「今後も個への働きかけを充実し、不登校を始めとする生徒指導上の問題」、このように記載がありますけれども、この中で「働きかけを一層充実し」と、「一層」を付け加えてはどうかと思います。

これについては既に皆さんご承知のように、これまで立川市教育委員会は学習支援体制や

学校生活協力体制、これをかなり整備されて、ここ1、2年の働きかけで学力向上あるいははじめ、不登校、一定の成果を上げているわけですので、そういうことから鑑みて、働きかけを一層充実し、「一層」を付け加えてはどうかと思います。

14ページをお開きください。「豊かな個性と創造力を伸ばす教育の推進」、ここの中で評価がBになっていまして、コメントの2行目、「校外での学習や体験的な学習は」とありますね。この中の「校外での学習」、これを「校外学習」にしてはどうかと思います。これについては、校外学習は教科で位置付けられておりますし、また、教育委員会の届出にも校外学習という形で届けておりまして、校外学習と明記するほうが適切ではないかと。ですから「での」を削除してはどうかと思います。

もう1つ、33ページをお開きください。「学校と学校図書館の取組」、これについては評価はBになってコメントが出ております。上から4行目、「全小中学校へのシステム導入達成後の市図書館間とのネットワークの構築と物流をどうするかが課題になる」、この「どうするか」のところ、こういう形ではなくて円滑化にしてはどうか。つまりネットワークの構築と物流の円滑化を図ることが課題であると、そのように円滑化に一部修正してはどうか、以上3点です。

○**福田委員長** 澤教育長。

○**澤教育長** 今の13ページの「一層」はそのとおりだと思いますので、一層で私もいいと思っています。

それから14ページの「校外での学習」、「校外学習」という単語でくくるということであれば、「での」は削除して構いません。

33ページのご指摘ですが、確かに「どうするか」というのは平易と言いますか、物流の円滑化でいいのではないかと思います。

3点ともそのまま採用させていただければと思います。

○**福田委員長** ほかの委員の皆さん、ご意見、ご質問はございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○**福田委員長** それでは、1点目の13ページ、「人権尊重の精神と社会の一員としての自覚の育成」でございますが、今後も個への働きかけを一層充実と、一層を付け加えるということをお願いいたします。

次に14ページでございます。「豊かな個性と創造力を伸ばす教育の推進」のところ、最終コメントの上から2行目、校外での学習や体験的な学習、校外での学習を校外学習にさせていただく形でお願いします。

33ページ、「学校と学校図書館の取組」でございます。これは学校図書館の活性化という施策でございますが、このコメントの最後でございますが、「物流をどうするかが課題になる」ではなくて、市図書館間とのネットワークの構築と物流の円滑化が課題であるにする。

その3点につきまして、皆さんご意見ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 ないようでしたら、最終評価、以上のようにお願いいたします。

全体を通して何かございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 それでは、教育委員会活動の点検・評価、6つの活動及び教育委員会施策の点検・評価、20の施策の協議を確認いたします。

協議内容を踏まえ以上のように確認いたしましたので、よろしくをお願いいたします。

では、協議を終了します。

---

## ◎協 議

### (2) 立川市図書館条例の一部改正について

○福田委員長 次に協議(2)立川市図書館条例の一部改正について、を協議します。

澤教育長、お願いします。

○澤教育長 本案につきましては文部科学省令の改正がございまして、来年の4月1日から施行するものでありますけれども、図書館法の改正、それに伴う図書館法施行規則の一部改正も省令の改正が予定されておりますので、本市の立川市図書館条例についても改正をするものであります。

詳細は図書館長から説明をさせます。

○福田委員長 清水図書館長、お願いします。

○清水図書館長 それでは、立川市図書館条例の一部改正について、ご説明いたします。

図書館法第15条及び第16条の一部改正に伴いまして、図書館協議会委員の任命基準につきまして、文部科学省令で定める基準を参酌し、図書館条例の一部を改正したいとするものであります。

はじめに図書館法について若干説明をさせていただきます。

現行の図書館法第15条では、図書館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する、となっておりますが、平成24年4月1日施行の図書館法の改正によりますと、第15条は、図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する、というふうに簡素化されております。

もう1点、第16条で、図書館協議会の設置、その委員の定数、任期その他必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない、となっております。これが改正では、図書館協議会の設置、その委員の定数及び任期の前に、任命の基準というものが条例で定めなければならないという改正がございまして、この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする、こういった改正がございました。

お手元の資料の2ページ目に文部科学省令官報がございまして、これの上段の最後の部分に第3章といたしまして、図書館協議会の委員の任命の基準を条例で定めるに当たって参酌す

べき基準として、第12条、法第16条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。これは以前の図書館法に定められておりましたものを文部科学省令で定めたということでございます。

これを参酌いたしまして市の図書館条例を改正するに当たりましては、お手元の資料、立川市図書館条例の一部を改正する条例、1ページ目になりますが、改正後の部分で（協議会）の第12条の2番目に、協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、委員会が任命する、というものを新たに加えるものでございます。

以上、よろしくお願ひいたします。

○**福田委員長** ありがとうございます。報告にありましたように、下線部の協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、委員会が任命する、に改正をするというものでございましたが、ご質問等ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○**福田委員長** それでは、立川市図書館条例の一部改正について、報告を終了します。協議に移ります。協議内容を踏まえ、ご意見等ございましたらお願いします。

〔「ありません」との声あり〕

○**福田委員長** では、協議を終了します。

立川市図書館条例の一部改正について、お諮りします。

ご提案のとおり承認することにご異議ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○**福田委員長** 異議なしと認めます。よって、立川市図書館条例の一部改正については、承認されました。

---

## ◎報 告

### （1）平成24年度予算案について

○**福田委員長** 次に報告に移ります。

報告（1）平成24年度予算案について、報告を事務局よりお願いいたします。

近藤教育部長。

○**近藤教育部長** それでは私から、平成24年度予算案につきまして簡単にご報告をさせていただきます。

平成24年度の立川市の予算につきましては、昨年の12月時点で各部からの要求に対しまして90億円の財源不足という形の中からスタートいたしました。最終的には一般会計につきましては昨年と比べ1億1800万円、約0.2%の増、合わせまして671億円という一般会計の予算で平成24年度は概ね決定をされているところでございます。

教育予算の確保につきましては、教育長と部課長で財政当局及び理事者に対しまして何回も説明をただけでなく、教育委員の皆様方からも市長に対しまして教育部の重要事項につきまして、特に3項目要望をしていただいたところでございます。そういう部分もございまして教育費につきましては平成24年度、約78億円の予算を確保する見込みでございます。数字上におきましては平成23年度と比べまして約6億円の減でございますが、ご存知のとおり、平成23年度につきましては普通教室などへの空調機設置が約11億円ございました。また、国体の関係の施設改修費も9億4000万円、合わせまして約20億5000万円というハードの予算がございましたので、平成24年度につきましては実質、増額予算というふうに私どものほうは捉えているところでございます。

特に教育委員さんが市長に要望していただきました3項目につきましても概ね予算が確保できると、そういう見込みでございます。教育部といたしましても、平成24年度に向かって多くの新規事業、充実事業、予算要望したところでございまして、概ねある程度の成果は得られたというふうに考えているところでございます。

現時点におきましては平成24年度の予算について、ただいまの説明をもって報告とさせていただきます。以上でございます。

○**福田委員長** ありがとうございます。ご質問等ございますか。田中委員。

○**田中委員** 質問ではなく感想です。ただいま近藤教育部長から説明がありました一般会計で0.2%増と。今回、教育長をはじめ部課長、また私どももそうですけれども、説明を通しながら78億の予算を確保する見込みであると、そういう中で本当にありがたいと、そういう思いでいっぱいです。

これについては第3次基本計画の経営戦略プラン、これを基にしての予算のわけですけれども、教育長をはじめ部課長の皆さんが何回も折衝し説明申し上げたと、そういうことが功を奏して78億の予算確保ができる見込みであると、本当に感謝しております。是非、教育委員会が主体となって自立的に進めていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○**福田委員長** 教育長。

○**澤教育長** 補足的に説明申し上げますと、教育予算だけではなくて、特に防災の関係で幾つか学校関連で予算がとれておりますので、そちらのほうも評価をしていい項目かと思っております。特にテレビのない校長室が多くありますので、幾つか防災関係で支援をいただける部分があると思っておりますので、併せて報告をさせていただきます。

○**福田委員長** 安全・安心な地域づくりの実現を目指すということでございます。これで完全というわけにはいかないと思っておりますけれども、ありがとうございます。

ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

---

◎報 告

(2) 立川シティハーフマラソン2012について

○福田委員長 それでは報告(2)立川シティハーフマラソン2012について、報告を事務局よりお願いします。五十嵐スポーツ振興課長、お願いします。

○五十嵐スポーツ振興課長 それでは、立川シティハーフマラソン2012について、報告いたします。

立川シティハーフマラソン2012は、メインレースを陸上自衛隊立川滑走路をスタートし、昭和記念公園をゴールとする箱根駅伝予選会と一部同じコースを通るハーフマラソンの部、昭和記念公園みんなの原っぱ周辺で行う3kmレース、また、親子ペアレースの部を3月4日日曜日に開催するため現在準備を進めているところでございます。

2ページの資料1は関係団体一覧でございます。

立川市をはじめ6団体が主催団体として開催する予定になります。

続きまして併催、主管、後援、特別協賛、協賛、協力は一覧表のと通りの体制で実施してまいりたいと考えているところでございます。

3ページの資料2につきましては、協賛・協力内容一覧でございます。

特別協賛団体であります多摩運送株式会社はじめ6団体より、合計で650万円の協賛金を受けております。また、物的協力といたしまして、東京立川ライオンズクラブをはじめ6団体より、一覧表のような提供物品をいただいているところでございます。人的協力につきましては、多摩信用金庫より体育協会に職員1名を2週間派遣していただくと同時に、当日50名の参加をいただいております。また、株式会社いなげやより、当日給水担当として20名の参加を予定しているところでございます。

4ページの資料3はエントリー状況でございます。

ハーフマラソンにつきましては11月15日から30日まで、市民優先枠といたしまして募集したところ515人の申込があり、通常申込、これは12月1日から26日までの期間でございますけれども5,002人で、募集定員が5,000人のところ5,517人のエントリーがございまして、その内市内が671人、12.2%の状況でございます。

3kmレースの部は募集定員2,200人のところ、1,827人のエントリーで、その内市内が637人、34.9%でございます。

親子ペアレースの部は募集枠100組のところ、116組のエントリーがあり、その内市内が51組、44%でございます。

資料にはございませんが、併催の日本学生ハーフマラソン選手権大会のエントリーは1,166人、その内1月に行いました箱根駅伝参加者が99人含まれている状況でございます。

募集期間が短い中で大勢の方に申し込みをいただいたというふうに感じているところでございます。

続きまして5ページの資料4、これはイベントの内容でございます。

走るだけでなく応援に来た方も一日楽しんでいただくための企画内容という形になっておりまして、立川商工会議所、立川市商店街振興組合連合会、観光協会などと連携を図って展開をしていく内容でございます。具体的には、ここに書いてありますとおり、クーポン券の

配付をすることにより駅周辺での商店に立ち寄るよう集客を狙ったことや、音楽等とのコラボとして和太鼓、ファンファーレ、チアリーディング等、また、公園内のみんなの原っぱでは物販ブース、飲食、市内の観光物産、イベントステージにおいてはトークショー、また抽選会なども実施してまいりたいと考えているところでございます。

今後の予定につきましては、2月20日に自衛隊で調印式を行うと同時に、3月1日にニューカレドニア国際マラソン姉妹市提携を行いますので、その調印式を予定しているところでございます。

報告は以上です。

○**福田委員長** ありがとうございます。ご質問等ございますか。

○**澤教育長** 箱根駅伝で走った選手が99人も走ってくれるということです。

○**五十嵐スポーツ振興課長** そうです。箱根駅伝で選手としてそれぞれの区間で出た選手が参加をしてくれるという状況です。箱根駅伝は関東学連が主催ですけれども、この全日本学生は通常はこれよりも上のレベルの大会という形のものでございます。ただ、箱根駅伝は放送関係がございまして有名になっておりますが、陸上界の中ではこちらのほうがランクが上というふうに考えております。

○**福田委員長** ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○**福田委員長** それでは、立川シティハーフマラソン2012についての報告を終了します。

この立川シティハーフマラソン2012は市民の皆さんのみならず、この周辺の各市の皆さんの関心も高いし、市内の特に中学生の関心が高いと思います。イベントも含めて多くの方々の関係各位のご協力をいただいていると思いますが、私は次年度のスポーツ祭東京、多摩国体を見据え、是非盛況のうちにこれが終了できますように、全市民、私自身も進んで参加をしたいと考えています。よろしく願いいたします。

○**福田委員長** その他に移ります。その他、ご報告はございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○**福田委員長** なければ、次回日程確認に移ります。次回の日程でございますが、平成24年第4回立川市教育委員会定例会を平成24年2月22日水曜日、午後1時30分より209会議室にて開催します。

次に議案に戻ります。議案第2号、立川市公立学校副校長の内申については、会の冒頭に申しあげましたように、秘密会といたします。

それでは、暫時休憩とします。

午後 2時04分休憩



---

◎閉会の辞

○福田委員長 以上で平成24年第3回立川市教育委員会定例会を閉会いたします。  
ありがとうございました。

午後2時08分

署名委員

.....

委員長